

事務事業評価における総括

部 局 名	都市部	記入責任者	後藤 祐史
評価について（現状と課題）			
<p>【事業の達成状況について（現状）】</p> <p>都市部の政策的事業は19事業あり、S評価13事業、A評価3事業としていることから、おおむね順調に進捗しています。しかしながら、C評価とした景観みどり課の民有地緑化推進事業があることから、事業の進め方等について、再度見直しを行う必要があります。</p> <p>なお、景観みどり課の鉄砲道の沿線景観形成事業については、平成28年度～30年度の3箇年で鉄砲道（雄三通り～学園通り、延長2,120メートル）の街路樹リニューアル工を行い、市街地の延焼遅延効果を向上、海岸エリアの都市景観の軸となる空間の創出について、一定の成果がありましたが、事業は平成30年度で完了しているため、実績なしとしました。また、自然環境評価調査業務については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、自然環境に関する講座を中止したため、Z評価としました。</p> <p>【達成できた（できなかった）要因についての分析（課題）】</p> <p>C評価とした民有地緑化推進事業については、「みどりのまちなみ推進補助金」が創設され2年目となり、5件の問い合わせがあったものの、実績は2件と目標値を達成できませんでした。</p>			
今後の方向性			
<p>【政策・施策目標の達成に向けた各事業の今後の方向性について】</p> <p>「ちがさき都市マスタープラン」、「茅ヶ崎市景観計画」及び「茅ヶ崎市みどりの基本計画 生物多様性ちがさき戦略」について、“茅ヶ崎らしさ（茅ヶ崎の価値・魅力）”を高めるという共通のコンセプトのもと、市民や事業者、また庁内関係課と連携し、官民連携したまちづくりを継続して進めます。また、少子高齢化や人口減少、さらには新型コロナウイルスがもたらす「ニューノーマル」に対応したまちづくりに向け、社会構造の変化を踏まえたコミュニティバス運行事業の在り方の検討や、空き家や空き室の対策について推進していきます。</p>			